

第2回福岡県がんピア・サポーター養成研修

◆研修の目的

がん患者の不安や悩みを軽減するために、がんを経験した者もがん患者に対する相談支援に参加することが必要であることから、基本的ながんの知識やコミュニケーションスキルを学んだ「がんピア・サポーター」を養成し、県内のがん診療連携拠点病院等で行われるがんサロン等におけるピア・サポートの活用を推進するものです。

- ①日 時 1日目：令和5年9月27日（水）9：00～16：30
2日目：令和5年9月28日（木）9：00～16：30
- ②会場 吉塚合同庁舎Y803会議室（福岡市博多区吉塚本町13-50）
- ③対象者 がん患者若しくはその家族・遺族
- ④参加人数 15～30人

研修プログラム

講義内容	講師
1日目	
受講オリエンテーション	-
自己紹介(アイスブレイキング)	-
ピア・サポートとは	福岡がん患者団体ネットワーク がん・バッテン・元気隊 波多江 伸子 氏（ピア・サポート経験者）
相手を大切にすること、自分を大切にすること (バウンダリーについて、ピアサポーターが知っておくと良い情報)	浜の町病院 伊原 出 氏（臨床心理士）
がん診療の基礎知識と 情報提供の注意点	NPO法人 臨床血液・腫瘍研究会 田村 和夫 氏（理事長）
ピアサポーターの活動方針	乳がん患者会 あけぼの会 福岡 深野 百合子 氏（ピア・サポート経験者）
自分の体験の語り方 ①体験の整理と語り方（講義） ②自分の体験を整理してみよう（ワークショップ） ③自分の体験を話してみよう	福岡がん患者団体ネットワーク がん・バッテン・元気隊 山内 千晶 氏（ピア・サポート経験者）
質疑応答	-
2日目	
コミュニケーションの方法 [ロールプレイングによる演習] (1)デモンストレーション (2)グループ別 ロールプレイング 3回程度 (3)模擬相談演習	聖マリア病院 福澤 理香 氏（臨床心理士）
グループファシリテートの方法	(行政の役割) 福岡県がん感染症疾病対策課 担当者より (医療機関の役割) 九州医療センター 高見 裕子 氏（がん相談支援センター長）
行政や医療機関の役割	
質疑応答 講評等	-
別途日程	
上記プログラムを受講後、別日でピア・サポート体験を行う実地研修を行います。	

お申込み方法：別紙「申込書兼承諾書」を福岡県HPよりダウンロード⇒
研修運営者「がん・バッテン・元気隊 事務局」へメールで提出
genkitai2008@yahoo.co.jp ※詳しくは福岡県HPを確認してください。

